

人口ビジョン策定にかかるアンケート調査【抜粋】

(1) アンケートの概要

名 称	対象者	回答数	実施期間
居住の現状や移住に関する意識調査	市内在住の満 18 歳以上の男女 3,000 人 (無作為抽出)	1,298 人 (43.3%)	平成 27 年 5 月 から 6 月
進学や就職に関する意識調査	市内の高校、専修学校、大学等に在学する生徒・学生 3,000 人 (無作為抽出)	2,743 人 (91.4%)	平成 27 年 5 月 から 6 月
結婚・出産・子育てに関する意識調査	市内在住の 20 代から 40 代の女性 3,000 人 (無作為抽出)	1,110 人 (37.0%)	平成 27 年 5 月 から 6 月

(2) 調査結果

①居住の現状や移住に関する意識調査

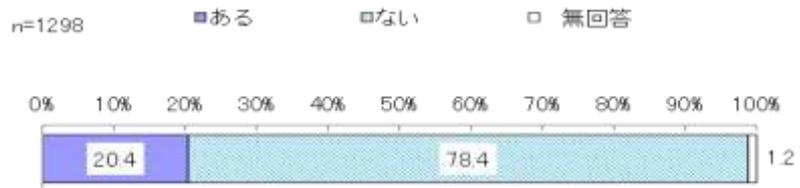
・定住意向

「今後、前橋市に住み続けたいかどうか」を聞いたところ、約 9 割が「住み続けたい」と回答しています。



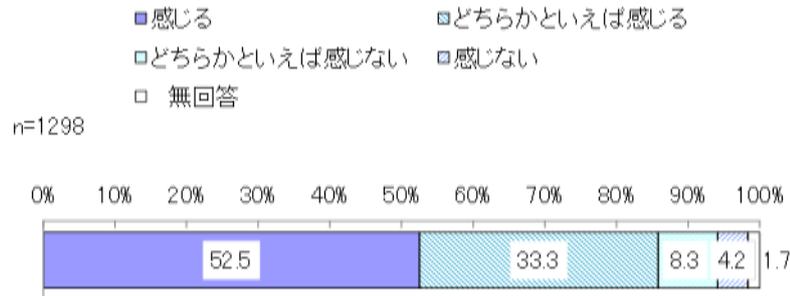
・移住意向

「今後、前橋市外へ移住する可能性があるか」を聞いたところ、78.4%が「移住する可能性はない」と回答しています。



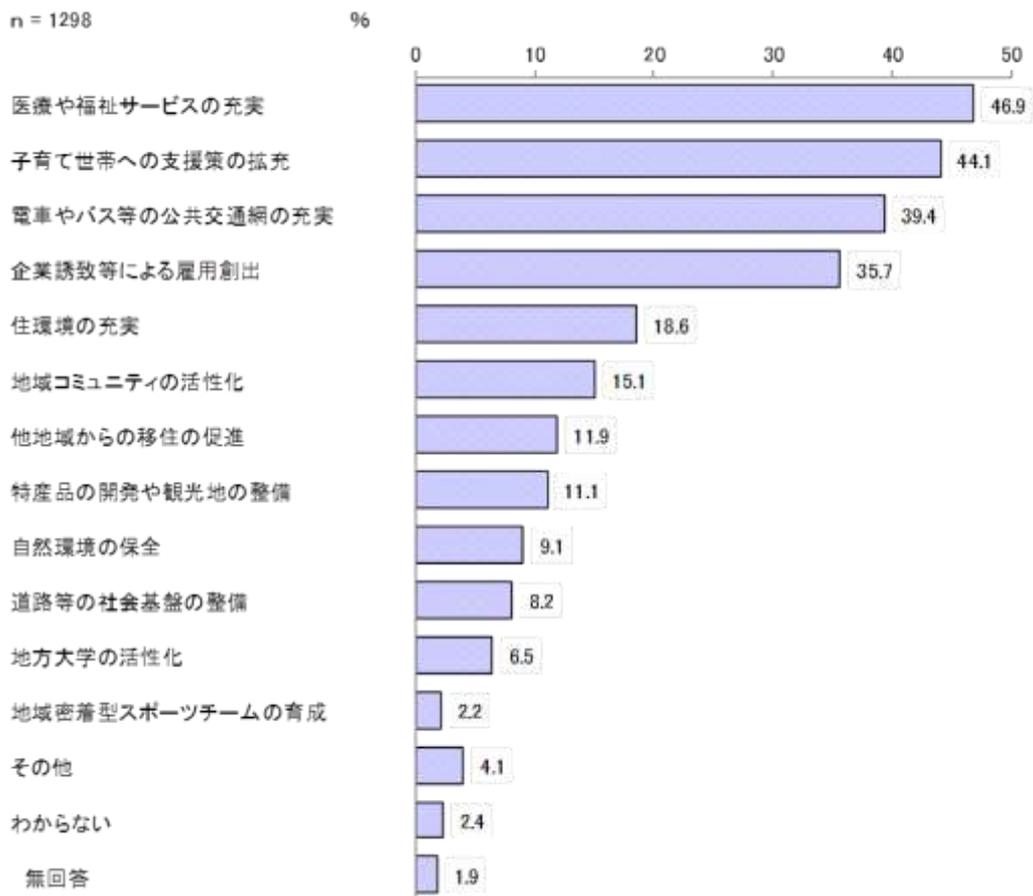
・人口減少や高齢化に対する不安感

「人口減少や高齢化に対して不安を感じるか」を聞いたところ、「感じる」(52.5%)と「どちらかといえば感じる」(33.3%)を合わせた割合は85.8%となっています。



・人口減少や高齢化に対して前橋市が行うべき取組

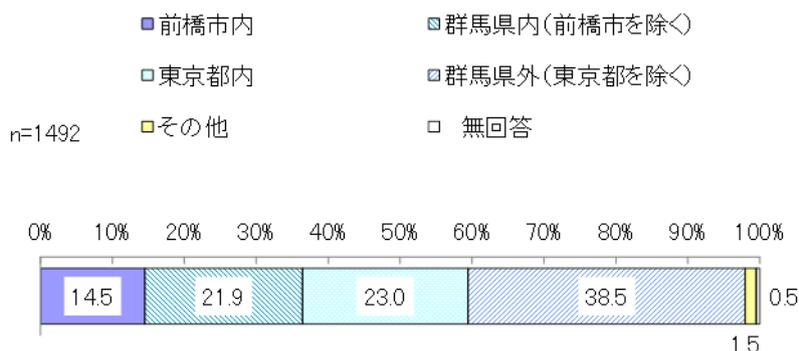
「人口減少や高齢化に対して前橋市が行うべき取組」を聞いたところ、「医療や福祉サービスの充実」、「子育て世帯への支援策の拡充」、「電車やバス等の公共交通網の充実」が上位となっています。



②進学や就職に関する意識調査

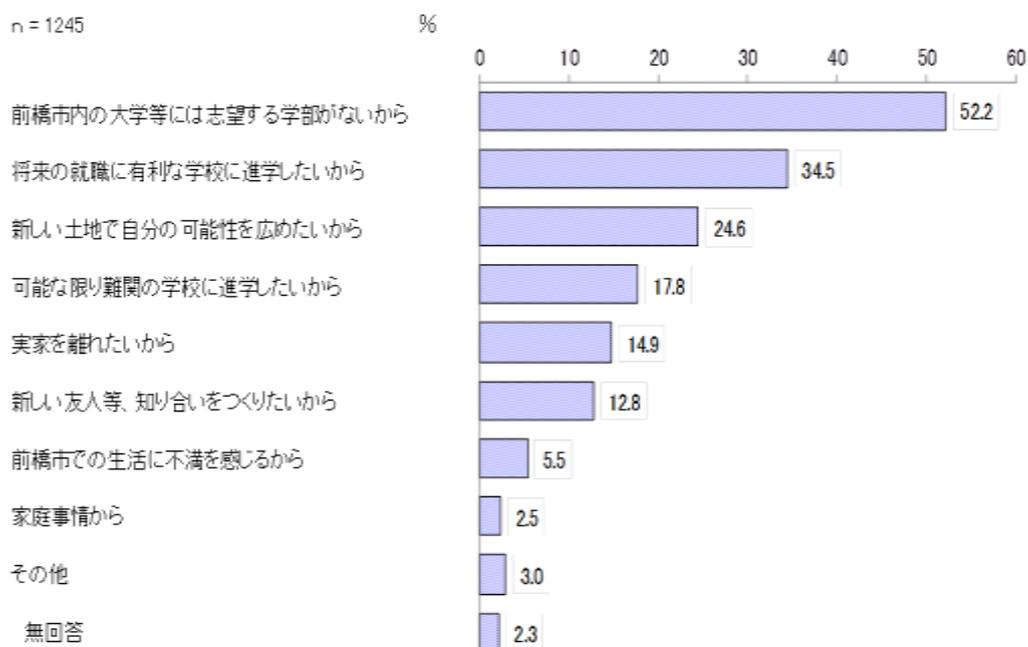
・希望進路先の所在地【高校生、高等専門学校生】

「進学を希望する高校生、高等専門学校生に希望進路先の所在地」を聞いたところ、「群馬県外（東京都を除く）」が 38.5%で最も多く、「東京都内」（23.0%）と合わせて、群馬県外に進学を希望する割合は、61.5%となっています。



・前橋市外に進学したい理由【高校生、高等専門学校生】

「希望進路先の所在地が前橋市外の方に前橋市外に進学したい理由」を聞いたところ、「前橋市内の大学等には志望する学部がないから」、「将来の就職に有利な学校に進学したいから」が上位となっています。



・大学等を卒業後、前橋市内での就職希望【高校生、高等専門学校生】

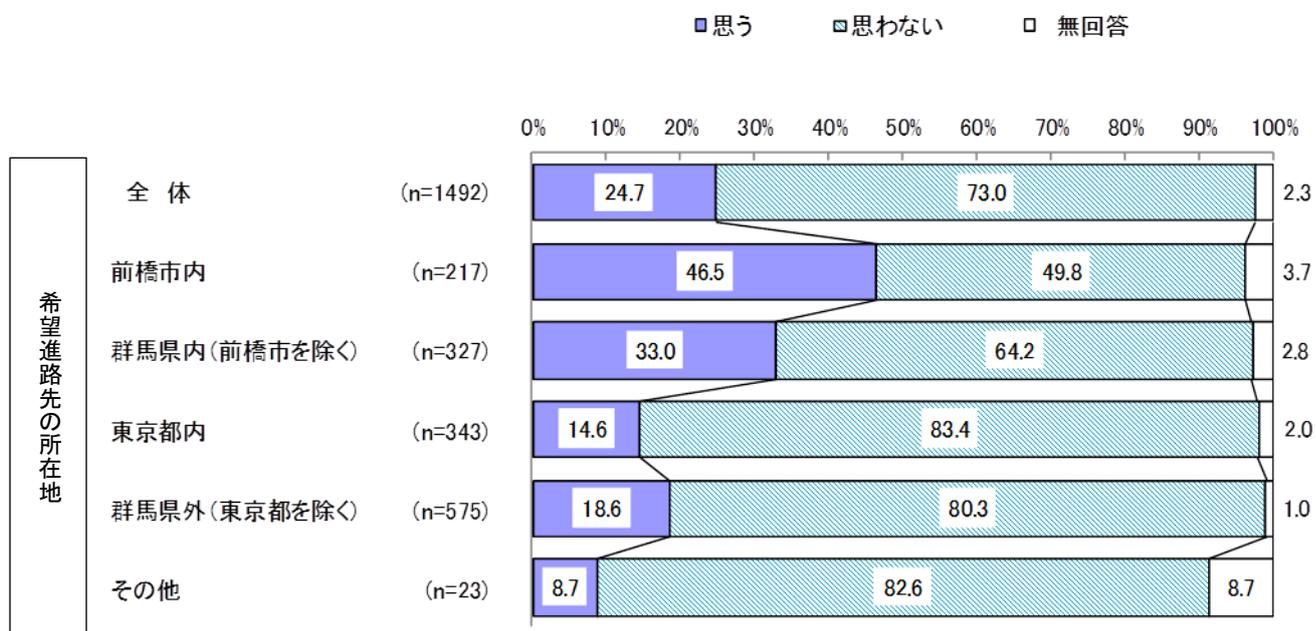
「大学等を卒業後、前橋市内で就職したいと思うか」を聞いたところ、「思う」が24.7%に対して、「思わない」が73.0%となっています。



・希望進路先の所在地別 大学等を卒業後、前橋市内での就職希望

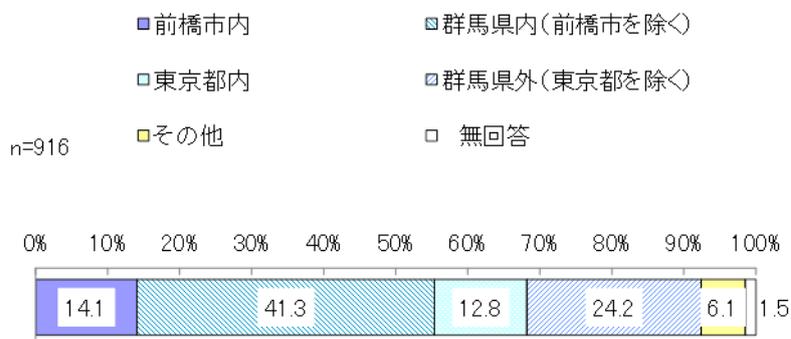
【高校生、高等専門学校生】

希望進路先の所在地別に大学等を卒業後、前橋市内で就職したいと思うかを見てみると、前橋市内で進学を希望している方で前橋市内で就職したいと「思う」は46.5%となっています。一方、「群馬県外（東京都を除く）」に進学を希望する方で前橋市内で就職したいと「思う」は18.6%、「東京都内」に進学を希望する方では前橋市内で就職したいと「思う」は14.6%となっています。



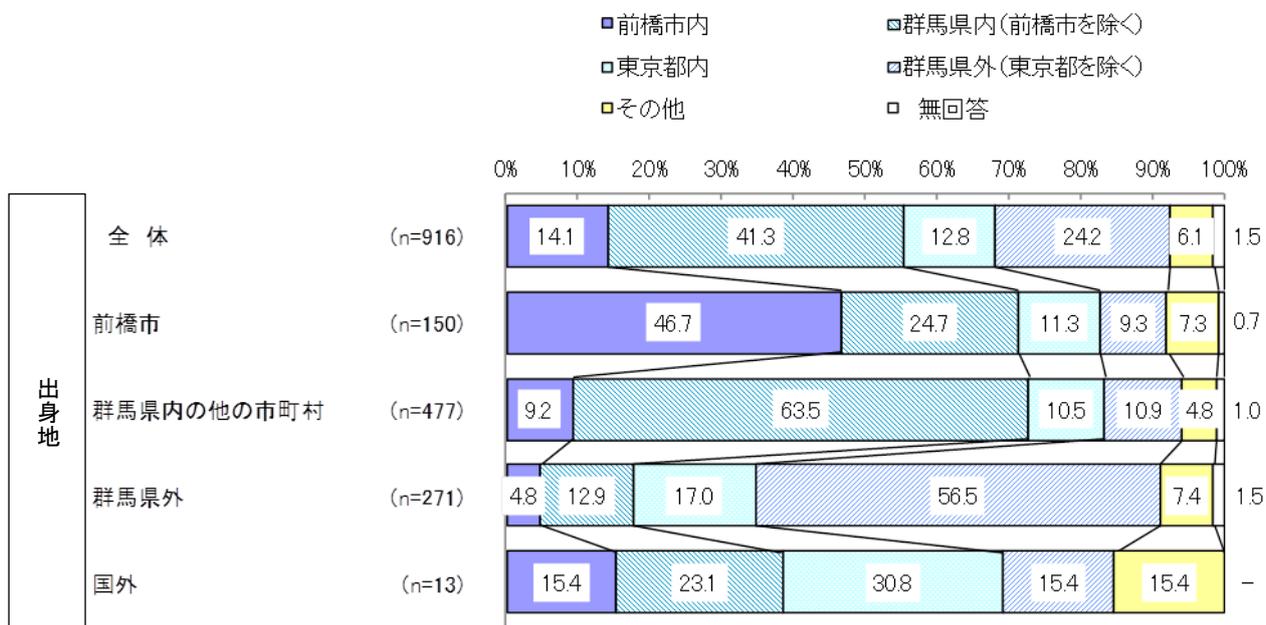
・希望する勤務先の所在地【専門学校生、短大生、大学生】

「就職する際の希望する勤務先の所在地」を聞いたところ、希望する勤務先の所在地は、「群馬県内(前橋市を除く)」が41.3%で最も多くなっており、「前橋市内」は14.1%となっています。



・出身地別 希望する勤務先の所在地

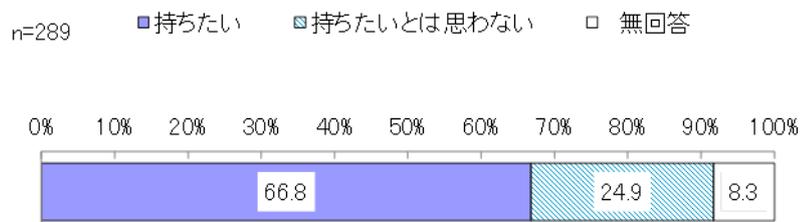
出身地別に就職する際に希望する勤務先の所在地を見てみると、希望する勤務先の所在地が「前橋市内」なのは、前橋市出身の方で46.7%となっており、群馬県内の他の市町村の出身の方では9.2%、群馬県外の出身の方では4.8%となっています。



③結婚・出産・子育てに関する意識調査

・2人目の子どもの希望【育てている子どもの人数が1人の方】

「育てている子どもの人数が1人の方に、2人目の子どもを持ちたいと思うか」聞いたところ、「持ちたい」が66.8%に対して、「持ちたいとは思わない」は24.9%となっています。



・2人目の壁（生活費や教育費に関連した家計の見通しや仕事の環境、年齢などを考慮し、2人目以降の出産をためらうこと）の存在

「育てている子どもの人数が1人の方に、2人目の壁が存在すると思うか」聞いたところ、「思う」と回答した方が、82.0%となっています。

また、「育てている子どもの人数が2人以上の方に、2人目の壁が存在すると思うか」聞いたところ、「思う」と回答した方が、78.1%となり、育てている子どもの人数が1人の方と比べて、約4%下回っています。

【育てている子どもの人数が1人の方】



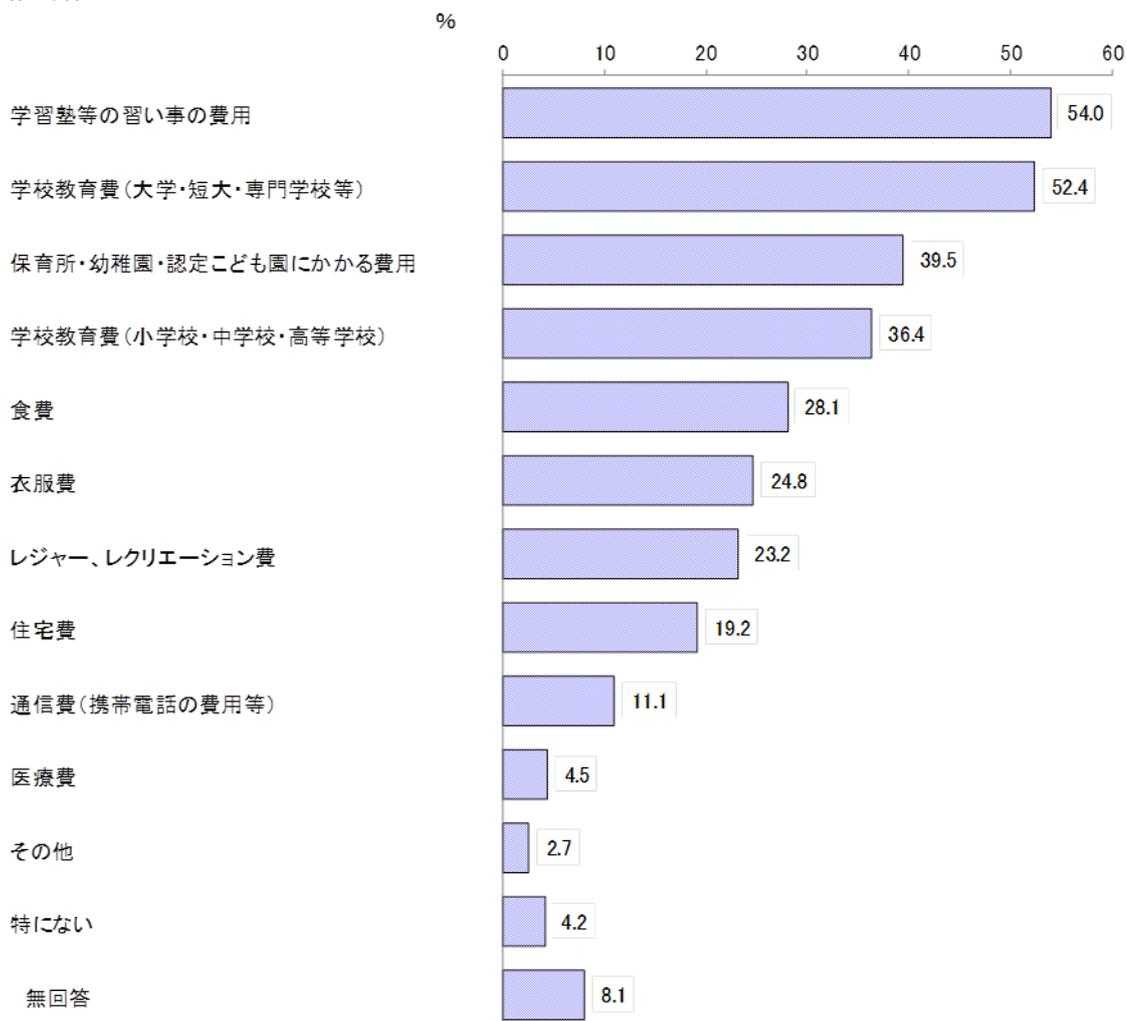
【育てている子どもの人数が2人以上の方】



・子育てにおいて経済的負担が大きいと感じていること

「子育てにおいて経済的負担が大きいと感じていること」を聞いたところ、「学習塾等の習い事の費用」が54.0%で最も多くなっています。次いで、「学校教育費（大学・短大・専門学校等）」（52.4%）、「保育所・幼稚園・認定こども園にかかる費用」（39.5%）、「学校教育費（小学校・中学校・高等学校）」（36.4%）などが続いています。

n = 741



・少子化に歯止めをかけるために前橋市が行うべき取組

「少子化に歯止めをかけるために前橋市が行うべき取組」を聞いたところ、「子育てと仕事の両立ができる職場環境」(58.3%)が5割後半で多くなっています。次いで、「教育費支援の充実(奨学金制度の拡充等)」(33.8%)、「不妊治療や出産支援」(33.5%)、「保育サービスの充実」(32.3%)などと続いています。

